

平成26年度 事務事業評価シート

事務事業名		特別支援学級総合行事				所管	教育委員会 学務課				
事務事業の概要	行政計画	なし	事業NO.		計画事業名	事業の開始・終了年度					
	長期総合計画体系	[基本目標]							[事業開始] 昭和39年度		
		[小 柱]							[終了予定] - 年度		
		[施 策]									
	根拠法令等	法令(義務)	[法令等名]	学校教育法施行規則							
	事業対象	区立小・中学校の特別支援学級(知的障害学級)に在籍する全児童・生徒									
	事業目的	区立小・中学校の特別支援学級(知的障害学級)に在籍する全児童・生徒による合同行事(運動会、学芸会、作品展等)を通じて子どもたちの交流を深める。また、より大きな集団での活動をとおして創造力や表現力、身辺処理能力を高め社会性の育成、向上を図る。									
	事業内容	小・中学校合同行事:運動会、学芸会、作品展 小学校:宿泊訓練 中学校:卒業を祝い励ます会 合同行事等を通じて全体の交流をはかり、小学校については、移動教室での宿泊訓練を行うとともに、小学校間の交流をはかる。									
委託の有無	なし	委託内容									
補助金の有無	なし										
事務事業の実績	種 別	指標の名称 (単位)		目標値 (27年度)	23年度	24年度	25年度				
	活動指標	開催事業数 (事業)		5	5	5	5				
		参加人数 (人)		270	263	239	235				
	成果指標	参加率 (%)		100.0	97.8	99.2	97.1				
		決算額 (単位:千円)			469	474	490				
	事務事業コスト (単位:千円)	人にかかるコスト(人件費など)			2,700	3,332	3,835				
		物にかかるコスト(物件費・維持補修費)			469	474	490				
		その他のコスト(扶助費・補助費など)			0	0	0				
		総経費			3,169	3,806	4,325				
	財源項目 (単位:千円)	受益者負担額(使用料・手数料・負担金など)			0	0	0				
その他特定財源(国や都の支出金・財産収入など)			0	0	0						
一般財源(区負担額)			3,169	3,806	4,325						
前年度から改善した事項	前年度から引き続き、各関係特別支援学級と連携し効率的に総合行事を実施するよう努めた。										
評価の視点	評価	評価の理由									
	必要性	3	特別支援学級に在籍する児童・生徒が、自己のペースで能力を表現できる機会として、また、保護者をはじめとする参観者に子どもの状態や特別支援学級の様子について理解・啓発をする機会として必要である。								
	効率性	3	合同行事の実施は、必要最少限の経費で効率的に実施した。								
	手段の適切性	3	法令等の定めにより、行政が主体となる必要がある。								
目的達成度	4	合同行事に各特別支援学級の児童・生徒が全員参加し、集団行動を通して、創造力や表現力、身辺処理能力等を高め、社会性の育成の向上を図った。									
[評価の理由](区民生活への影響を十分考慮すること)					評価結果	今後の方向性	拡大 改善 維持 縮小 廃止・終了				
特別支援学級に在籍する児童・生徒にとって、より大きな集団行動を通して、自己能力を発揮する良い機会であるため、引き続き維持していく。						維持					